

\* 高屋敷の産土神(土地の守り神)として地域の習俗の中に溶け込み、故郷の繁栄を見守ってきた千手観世音(通称観音様)の由来と歴史の概要が分かりました。資料提供は戸舘孝雄氏(14代当主)、戸舘保人(15代当主)です。

\* 場所は、国道から濱農園のわき道を東方に約100メートル進んだ右側にあります。観音様までの104の石段(一部、途中が切れている)には手すり代わりにロープがあり、千手観世音までの上りを容易にしてくれます。ゆっくりゆっくり木もれ日の中、石段を上るにつれて、参道の西側に国道に沿った高屋敷町内の家並みを望むことができます。

### せんじゆかんぜおん 「千手観世音」の歴史と由来の概要(一部調査・解読中)

#### 〔1〕千手観世音の名称

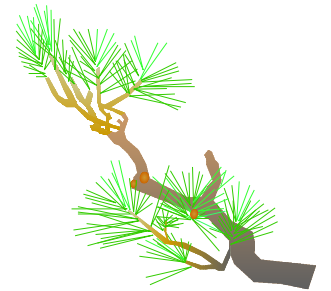
- ①観世音は、観世音菩薩の略。
- ②観世音は、大慈(大きな慈愛)大悲(大きな慈悲の心)で衆生を済度する(仏や菩薩が人々に楽を与え、苦しみを取り去り、悟りの境地へ導く)ことを本願としている。
- ③今は「観音様」として、地域の人々に親しまれている。

#### 〔2〕創建(建てられた年代)

- ①戸舘七郎氏が、山梨県の南部町から観世音を背負い、海を渡って今の場所(高森)の納めたとされる。
- ②・弘化3年(1846年)に改築の札がある。  
・寛政5年(1793年)12月14日に、高野山遍照光院に行った掛け図がある。

#### 〔3〕観音堂の建坪と境内の様子

- ①建物(図は省略)
- ②参道  
・104の石段がある。この地域では、あまり見られない。  
・西側に、幹の回りが3~4メートルの杉等の巨木がある。樹齢を調査中である。  
・特に頂上の「イチイ」の大木は、市川地区の注目をあつめている。



#### 〔4〕祭神(祀られている神)とご利益

- ①千手観世音(堂の中にある。)  
・千の慈手、慈眼を備えて、あまねく衆生を済度する。(人々を迷いから救い、悟りを得させる。)
- ②十一面観世音(堂の中にある。)  
・十一の面を持つ神(除病、減罪、求福などのご利益があるとされる。)
- ③竜神様(境内にある。雨、水をつかさどってくれる神。)
- ④山の神様(境内にある。山を守り、山をつかさどってくれる神)

#### 〔5〕祭礼(祭典)の日

・1月17日 ・3月17日 ・8月17日

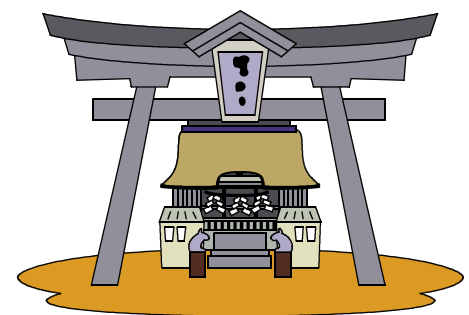
#### 〔6〕管理者

・代々戸舘家

#### 〔7〕祭礼(祭典)の日の行事や催し物

- ・古い時代は別当の家で酒盛りをして、地区の人々が親交を図った。
- ・大人にとっては、娯楽の少ない時代の楽しみな行事であった。
- ・子どもたちは、参拝者が紙に包んでなげてくれたお金などを、われさきに取り合う楽しみがあった。

(以上、要約：木村隆一)



### お知らせ

~~~~~  
次回の「第17回市川を調べる会」が、来る9月23日(土)午前10時から市川公民館の図書室で開催されます。どなたでも参加できます。一度来てみませんか。お待ちしております。